

が、幸いまだ十分に使えるものである。しつかりとした改修工事を行うことにより、次の世代に伝えていきたいと考えている。

【公営住宅について】

問 入居状況について。

答 平成22年12月1日現在、町営住宅管理戸数358戸のうち、入居しているのは304戸で、入居率は84・9%である。

空き家は54戸で、その内訳は、1年未満の空き家状態にあるものが6戸、1年以上空き家状態にあるものが30戸、12月1日現在募集状態にあるものが18戸となっており、耐用年数が経過したものや修繕不能なものなど30戸については、安全上の面から募集を停止している。

問 空家住宅の周辺管理について。

答 除草作業や雑木の伐採、腐食したトタン屋根等の解体除去など、委託業務員および職員が随時行っている。現在募集を行っていない住宅については、他と比べるといくらか手薄になる傾向はあるが、住民の皆様から苦情がよせられることのないよう努めているところである。

問 生活排水浄化処理について。

答 農業集落排水による処理75戸、合併浄化槽による処理64戸、単独浄化槽による処理30戸となっており、処理施設整備率は47・2%と

なっている。

このような状況であるので、町としても、町営住宅における住環境の改善および公共水域の水質浄化を図るための取り組みを進めており、最近では平成19年度から21年度にかけて日吉地区にあるほとんどの町営住宅について、農業集落排水処理施設に接続する工事を行っているところである。

【企業誘致について】

問 城西国際大学の学部誘致など、町のPR実績について。

答 若者を呼び寄せる施策を推進していく必要があると考え、千葉県東金市および鴨川市に立地している「城西国際大学」とは、交流事業を通して、将来的に学部の誘致ができればと取り組んでいるところである。

さらに、東京都葛飾区に立地している「東京聖栄大学」には、食材として当町の農林産物や特産品を使っていたり、また、千葉県鴨川市からは、人的、産物、文化等の交流を持ちたいとお話をいただいているところである。

その他、PFI方式による公共施設の設置と雇用確保など、町の財源を抑制しながら町民サービスに寄与できる事業についても、人脈をフルに活用し、多角的な観点から精力的に取り組んでいるところである。

◆ 程内 覺 議員

【選挙ポスター掲示場所について】

問 現在の掲示場所の決定時期について。

答 本町の現在の99箇所の設置場所については、旧日吉村と旧広見町との合併の際に、合併協議会において確認された「旧日吉村、旧広見町のポスター掲示場の設置場所は現行のまま引き継ぐ」という決定に基づき、定めているものである。

問 掲示場所の見直しについて。

答 道路事情、地域環境の変動に伴い、周辺の環境が変化してきている設置場所もあると考えられるので、現在の設置場所を再度確認し、地元のご意見も参考にさせていただきながら、設置場所の見直しを行いたいと考えている。

【第3セクターの職員について】

問 それぞれの会社において、町内の社員割合はどうか。

答 鬼北町農業公社は、正職員7人および臨時パート職員13人の全職員が町内在住者である。日吉夢産地は、正社員8人のうち町内在住者が7人、町外が1人、臨時パート社員14人のうち町内在住者が12人、町外が2人である。森の三角ぼうしは、常勤役員の支配人1人と正社員1人は町内、臨時パート社員16人のうち町内在住者が10人、町外が6人である。日吉農林公社は、常勤役員1人および正社員11人の全員が町内

である。

問 採用方法について。

答 鬼北町農業公社は、町内回覧、鬼北町ホームページ等で募集し、採用試験または面接等で採用している。日吉夢産地は、ハローワーク等で募集し、面接等で採用している。森の三角ぼうしは、ハローワーク等で募集し、正社員は採用試験、臨時職員等は面接等で採用している。日吉農林公社は、鬼北町ホームページ等で募集し、作文および面接等で採用している。

【情報基盤整備事業について】

問 第2期工事関係地区の、光ファイバー回線の供用開始はいつか。

答 鬼北地域情報通信基盤施設の供用開始については、情報通信サービスの内容によって、その時期が異なる。

まず、IP告知放送システムによる防災行政放送および町内無料電話については、町内全域の工事が完了して試験運用および具体的な使用方法の周知広報期間を設けて、使用方法の周知を行った後となるので、平成23年4月1日の供用開始を予定している。

次に、ケーブルテレビ、光インターネットについては、公共工事の部分が完了し、さらに個人負担で実施する宅内工事が完了された方から、12月1日以降、試験運用期間を経て順次供用開始となっている。